當選の日

太宰治

青空文庫

（一）　まづしい作家のこと

こんど、國民新聞の短篇小説コンクールに當選したので、その日のことを、正直に書いて見ようと思ふ。私は、ことしのお正月に、甲府の人と平凡な見合ひ結婚をして、けれども私には一錢の貯金も無し、すぐに東京で家を持つわけに行かなかつた。家の敷金として、百圓くらゐ用意しなければならぬし、その他家財道具一切を買はなければならぬし、そのためには、どうしても、もう百圓は必要であらうし、とにかく、結婚當時の私には、著てゐる著物と、机と夜具、それだけしかなかつたのであるから、ずゐぶん心苦しいことが多かつた。はじめ私たちは、どこか山奥の安い宿でも見つけて、そこにかくれて、私はとにかく仕事に努め、家を持てるだけのお金を得ようと、そんなことも相談してゐたのであつたが、さいはひ、甲府の實家のちかくに六圓五十錢の、八疊、三疊、一疊の小さい家が見つかり、當分ここでもいいではないか、山の宿より安あがりかも知れんと、しちりんや、箒やバケツを買つて、その家に收まつた。敷金もここは要らないのである。

甲府のまちのはづれで、坐つてゐても、部屋の窓から、富士がちやんと見える。葡萄棚もあり、枝折戸もあり、何よりも値が安く、六圓五十錢なので、それが嬉しかつた。汽車の響きが

かすかに聞えて來るくらゐで、夜は、八時すぎると、しんとしてゐる。

「いいかい。侘びしさに、負けてはいけない。それが、第一の心掛けだと、僕は思ふ。」

私は、多少口調を改めて、そんなことを家内に教へた。私自身、侘びしさに負けさうで、心細かつたからでもある。

この家で、一ばんはじめに書いた小説は、黄金風景といふ十枚たらずの短篇であつた。その短篇が、こんどコンクールに當選してゐたのである。私は、當選などとは、ほんたうに、それこそ夢にも思つてなかつた。私はこれまで、私の性格、體質などに就いて、ずゐぶん誇張されて言ひ傳へられ、たしかに私にも不用意な點があつて、明かにそれは私のいたらぬところであつたけれど、あらぬ傳説が一部の人たちに信じ込まれてゐた樣子で、たいへん評判がわるかつた。當選などは、思ひも寄らぬことで、家内にも、また家内の實家の人たちにも、「こんど、國民新聞で短篇小説のコンクールがあつて、私も書くのだが、まあ、おしまひから二、三番のところ、と思つてゐて下さい。いいえ、ほんたうに、さうなんです。」と何かの機會に、さう言つて、笑つたことがあるけれども、そのとき、家内の母は、ひとり笑はず、正直に淋しさうな顏をして見せて、私はそれに氣がつき、おそろしく、しよげてしまつたことがある。

（二）　四人のひとを尊敬する

四月廿二日の朝、私は、こんど出版する豫定の「愛と美について」といふ書き卸し短篇集の校正刷を、床の中で受け取つた。その校正刷と一緒に、速達のハガキが來てゐて、それには、上林氏と太宰とが、コンクールに當選した、といふことが書かれてゐて、はじめ、私は、ぼんやりしてゐた。何も、思はなかつた。ただ、見てゐた。だんだん、事情が分明して來て、それから、

「おい、おい。」と臺所の家内を呼んで、そのハガキを見せた。

「へんねえ。」家内も、一瞬、へんな顔をした。

「とにかく、驛へ行つて、新聞を買つて來よう。」そのハガキには、廿二日の新聞に詳細發表してあります、と書いてあつたのである。

驛まで、歩いて、十五分くらゐかかる。朝の八時すこしまへで、學校に急ぐ中學生の列が、黒くぞろぞろ、つづいてゐた。歩きながら、だんだん嬉しくなつて來た。當選といふ事實が、はつきり掴めて來たのである。ふと、中學に合格したときの氣持が、思ひ出されて、あの時のうれしさも、こんなだつた。一瞬で、周圍の景色が、からつと晴れたやうな、自分が急に身の丈一尺のびて、ちがふ人種になつたやうな、やはり、晴れがましい氣持であつた。家内の實家の母に、だい一ばんに、その新聞を見せたかつた。驛で新聞買つたら、それを、實家の郵便受

箱に知らぬふりして、投げ込んで置かうか、とさへ思つた。母は、私のやうな一物もない貧書生に娘を與へて、さぞ内心、淋しいことであらう。大決意を以て與へたのに、ちがひない。私は、少しでも母の、よろこぶさまを見たかつた。私には、實の生みの母もあるのだが、いろいろの事情から、いまは音信不通になつてゐて、親孝行したくても、なかなか、それの許されない立場に在るのであるから、せめて、この家内の母にだけでも子としての務めを、ほんのわづかでも、無力の私にできる小さい範圍内でも、何かしたいと念じてゐるのだ。

停車場の賣店には、國民新聞が、一部殘つてゐた。私は、五錢を投じてそれを買つた。停車場の待合室のベンチに腰をおろして、その新聞をひらいて見た。私の寫眞が、上林氏の寫眞と並んで載つてゐた。私の顔は、少し修正されて、色が白く印刷されてゐた。けれども、やはり泣きべそをかいてゐる様な顔であつた。私には、四票はひつてゐた。四人。私はぎゆつと眞面目になつた。力づよく思はれたのである。四人。四人のひとが私のいままでの惡評を押しのけて、敢然と投票した。美しいと思つた。嚴肅なものを感じた。襟を掻き合せたい氣持であつた。四人。すぐそのうちの二人の顔が浮んで來た。あとの二人は、私の知らぬ人かもしれない。私はこの四人を忘れては、ならない。私は素直に言ひます。私はこの四人を永久に尊敬する。

（三）無事之好日

その新聞をふところに入れて、家へかへつた。さすがに、實家のポストには投入しかねた。家内にも、見せたかつたのである。

家内は、その新聞を讀んで、

「でも、よかつたわねえ。上林さんと御一緒で、あたし、とても安心だわ。あなたおひとりだと、あなただつて、お苦しいでせう?」

私は、家内をほめたく思つた。私も、上林氏と一緒なので、それが、とくに心強く、それに、——これは記名投票なのだから、公表しても差し支へ無いと思ふが——私の眞劍の一票は、上林氏の寒鮒に、いれて在るのだから、私のよろこびも二重になつてゐたのである。私は、朝ごはんまへに、校正のはうを片附けてしまふつもりで、机にむかつたら、ひよつこり母がたづねて來た。母は、甲府のランドラアとかいふハイキングの會で、山高の神代櫻へ行く人を募集してゐるさうだから、行つてみたらどうか、團體だといろいろ説明もしてもらへるだらうし、それに旅費が安い、一圓くらゐだから、この機會に行つたらどうか、毎日そんなに仕事ばかりしてないで、少しは氣晴らしをしたらどうか、と私たちに一日の行樂をすすめに來てくれたのである。

「ああ、それから、この御本は、どうも、ありがたう。」と、せんだつて私のところから借り

て行つたシメノンの探偵小説を風呂敷から出して、

「うまいですね。この、シメノンたらいふひと。」母は、ことし六十五歳であるが、デユマや、コナン・ドイルの傳奇探偵物語の類を好むのである。英語だつて、少し讀めるのである。「このひとのもの、他に何か無いかな。」

「ええ、それよりも、」私は、國民新聞を取り出して「ここに、ちよつといいことが出てゐます。」

私も家内も笑つてゐるので、母も、自然に笑ひ出して、

「なんだらう。眼鏡が無ければ、よく讀めないので。おや、おや、寫眞が出てゐますね。」

「僕が、いつかお知らせしたでせう？　國民でコンクールやつて、僕は評判がわるいから、びりから二、三番だらうつて。」

「さうですか？」母はきよとんとしてゐた。きれいに忘れてしまつてゐるらしかつた。

だまつて新聞を讀んでゐた。讀んでしまつてから、

「黄金風景つて、どんな小説なんですか？　私は、まだ讀んでゐないよ。」作品を讀んでみないことには、母にも、當選の事實が信じられない様子であつた。何かしら、不安らしかつた。

「それがねえ、あんまり自信ないのです。とてもお見せできません。お情で當選したのですよ。」さう言つて、けれども、お情、と言ひ切つてしまつては、まじめに投票して下さつた四人

の人に、すまないぞ、と思つた。そこのところが、言ひ表はすのに、むづかしかつた。

神代櫻へは、わざわざ團體で行かなくても、私たちだけで、のんびり見物に行きませう、賞金もらつたら、そのお金で行きませう、さうしませう、と三人で話をきめた。

母がかへつて、私は校正にとりかかり、ひるごろまでに濟まして、晩い朝ごはんをたべ、それから、〆切のせまつてゐる小説を少しづつ書きつづけ、そのうちに、しきりと侘びしくなつて來た。

「おい、たいしたことでも、ないんだね。」

「いいえ、私、これくらゐの喜び、いちばん幸福に思ふの。五百圓、千圓もらふより、上林さんとふたりで、五十圓づついただいて、ずゐぶん美しいわ。」

私は、日沒のころまで、仕事をつづけた。實家の妹が、家内に給を一枚、持つて來て、

「これ、お母さんが、ねえさんにあげなさいつて。」ごはうびのつもりかも知れない。

夜は、また速達で校正刷が來て、十二時ちかくまで、それにかかつてゐた。

青空文庫情報

底本：「太宰治全集11」筑摩書房
1999（平成11）年3月25日初版第1刷発行
初出：「國民新聞　第一七〇四六号～一七〇四八号」
1939（昭和14）年5月9日～11日発行
入力：小林繁雄
校正：阿部哲也
2011年10月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

當選の日

太宰治

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/